

B 新型コロナウイルス SARS-CoV-2、その感染症 COVID-19 について

要約(2020年9月15日現在)

最も大事なことから

他人への感染源とならない:3密を避ける、マスク着用厳守

自分が感染しない:3密を避ける、マスク着用、手洗い、うがい

必要のない会話、特に大声、はしゃぐ

宴席、長時間の会話、場への慣れ(まあいいだろう):非常に危険な行為

参考:濃厚接触者の定義より一部抜粋

3条件:1m以内、マスクなし、15分以上の接触(会話を含む)

但し、一つだけでも危険な接触と考えられることもある

マスクの着用

屋外:2m離れていれば会話などしない限り不要

屋内:原則着用

稽古時:面マスク+マウスガード必須、アイガード着用順守

この条件下であれば発声は問題ない、無駄な発声はつつしむ

フェイスマスクなどがあるがあくまで利便性重視のものでありマスクの代わりとなるものではない。使用時の条件に注意が必要

感染性

現在の日本では感染性は高まり、病原性は低下しているのではないかと思えるが
現在進行の社会生活の制限解除から今後については予断を許さない

危険因子 各国の報告

日本 入院例

うっ血性心不全、末梢動脈疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、軽度糖尿病がある場合、中等症や重症に占める割合が高い

アジア、欧米の11か国 8910人中死亡率を高める危険因子

慢性気管支炎などの慢性閉塞性肺疾患

心不全や不整脈などの心血管疾患

年齢65歳以上

現在の喫煙習慣

男性

米国疾病対策センター 7162人中集中治療室入室重症患者基礎疾患

糖尿病 32%、心血管疾患 29%、慢性肺疾患 21%、慢性腎疾患 12%
米国ニューヨーク市、英国リバプール大学
肥満 BMI 30%以上
BMI30% = 身長 170 cmでは 87kg、160cmでは 77kg

ワクチン

- ・世界で 11 種が開発中、そのうち米・英の 2 種が有望視
- ・政治的目的で使用され安全性が損なわれないよう 9 社が声明を出した
- ・日本は英 AstraZeneca 社から 1 億 2000 万回分、米 Pfizer 社から 1 億 2000 万回分、米 Moderna 社から 4000 万回分の供給を受けることで合意している
- ・英 AstraZeneca 社のワクチン一時重度の合併症があるとされ、治験を中止したが問題ない(関係がない)と判断され治験再開
- ・世界で独占的な使用がされないよう、公平に各国に配られるよう努力されている
- ・まだ開発の行方は予断を許さないが、来春には一般使用の可能性あり
- ・効果についても有効性の目標は 50~70%
- ・中和抗体発現の期待は大きく、一部証明されているが効果持続期間については 3 ヶ月未満か
- ・日本政府の発表ではワクチン接種は全員無料、医療従事者や高齢者、リスクの高い合併症を持つ人に優先接種としているが具体策は不明

治療

- ・基本的に対症療法(症状を緩和し、悪化を防ぐ)のみ
- ・特異的特効的な治療薬、治療方法はまだない
- ・第 1 波時以上の重症者が多発した場合医療の機能不全が起こりうる

現状ではまだ治療への期待は小さく、予防が非常に重要